42 テーマ別 漢字・語句

標準問題

1 次の各問いに答えなさい。

(1) 楷書で書いた場合に次の漢字と総画数が同じになるものをそれぞれ後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 割
ア 紙　イ 開　ウ 済　エ 照　〈徳島〉

② 登
ア 税　イ 郵　ウ 路　エ 救　〈福岡〉

③ 歴
ア 窓　イ 筒　ウ 絵　エ 演　〈茨城〉

(2) 次の漢字と部首が同じになる行書体の漢字をそれぞれ後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 袖
ア 礼　イ 複　ウ 税　エ 枝　オ 祝　〈熊本〉

② 枝
ア 祈　イ 柳　ウ 肢　エ 牧　〈岩手〉

アドバイス
行書で書かれた文字は点画の省略や連続があるため、出題されやすい「いとへん」や「もんがまえ」「しめすへん」などが行書でどのように書かれるか、前もって確認しておこう。
❶まず楷書で一画ずつ書き直す。→❷それから画数や部首を確かめる。

2 次の漢字の黒塗りのところは何画目ですか。漢数字で答えなさい。

① 必　〈佐賀〉　画目
② 城　〈熊本〉　画目
③ 初　〈岐阜〉　画目
④ 俳　〈兵庫〉　画目

アドバイス
実際に書いてみて確かめる習慣をつけよう。①は中心部から先に書く。②・④の「つくり」である「成」「非」は間違えやすいので注意する。筆順の原則を再度確認し、間違った筆順で覚えているものがないかチェックしよう。他に出題されやすいものに「飛」がある。（てて飛飛飛飛）

3 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の熟語と同じ構成の熟語をそれぞれ後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 大陸
ア 搭乗　イ 水路　ウ 登山　エ 伸縮　〈長野〉

② 関連
ア 売買　イ 地震　ウ 俊足　エ 規則　〈岐阜〉

③ 密疎
ア 公園　イ 豊富　ウ 表裏　エ 日没　〈長崎〉

出題傾向
●単純な読み書き以外でも、漢字はさまざまな形式で出題される。慣用句やことわざなどの分野でも漢字を当てはめて答える場合もあるので、目で見て覚えるよりも、手を動かして書いてみよう。

④　通園　　〈静岡〉
ア　粗雑　　イ　県営　　ウ　盛衰　　エ　遭難

⑤　市立　　〈宮崎〉
ア　登山　　イ　高低　　ウ　雷鳴　　エ　河川

⑥　高齢者　　〈佐賀〉
ア　青少年　　イ　天地人　　ウ　不可能　　エ　古本屋

(2)　「無病息災」は「病気をせず健康である」という意味であり、ここでの「息」という字は、「防ぐ、とどめる」という意味を持っています。この四字熟語の構成として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。また、「無病息災」と同じ構成の四字熟語を次から一つ選び、記号で答えなさい。　〈京都〉

〔構成〕
ア　上の二字が下の二字にかかるもの
イ　意味が逆になる二字熟語を重ねたもの
ウ　意味の似た二字熟語を重ねたもの
エ　上の二字が下の二字の主語になるもの

〔四字熟語〕
オ　大器晩成　　カ　質疑応答
キ　呉越同舟（ごえつ）　　ク　鯨飲馬食

構成［　　］　四字熟語［　　］

(3)　次の文の□に当てはまる漢字を書きなさい。

①　日夜、［　　］錯誤を重ね、新薬の開発をめざす。　〈愛知〉

②　優先席を増設することに対して、賛［　　］両論あるようですね。　〈茨城〉

③　雄蔵（ゆうぞう）は半［　　］半［　　］で訊（き）き返した。　〈長崎〉

④　私は早朝に自主練習をすることを決めた。早起きの習慣が身につき、技術も向上するので一［　　］二［　　］だ。　〈岡山〉

アドバイス
熟語の構成の問題の出題形式は、同じ構成の二字熟語を選択肢から選ぶものが多い。熟語の構成は、(1)①「大陸」なら「大きな・陸」というように、漢字一字一字を訓読みや意味のわかる言葉に直して熟語の意味を表してみると捉えやすい。選択肢をいったん自分で漢字に直したうえで選ぶ場合もある。
単純な四字熟語の問題は、四字全てを答えさせるのではなく、穴あき方式が多い。(3)③のように共通する漢字がある構成のもの、④のように漢数字を使ったものは特に出題されやすく、覚えやすいものも多いため、重点的に学習しておこう。

4　**次の各問いに答えなさい。**

(1)　――線の片仮名を正しく漢字に直したものを、それぞれ後から一つずつ選び、記号で答えなさい。　〈青森〉

①　旅の思い出をキコウ文にまとめる。
ア　機構　　イ　気候　　ウ　紀行　　エ　帰港　［　　］

②　彼の態度はシュウシ変わらなかった。
ア　終止　　イ　終始　　ウ　宗旨　　エ　収支　［　　］

③　意地になって態度をコウカさせる。
ア　高価　　イ　硬化　　ウ　降下　　エ　効果　［　　］

④　生徒会のユウシで校内のごみ拾いをする。
ア　融資　　イ　有史　　ウ　勇姿　　エ　有志　［　　］

(2)　――線の片仮名を漢字に直したときに同じ漢字を使うものを、それぞれ後から一つずつ選び、記号で答えなさい。　〈三重〉

①　動物の生態をカン察する。
ア　早寝早起きが習カンになる。
イ　カン単には解決しない。
ウ　名所をカン光してまわる。
エ　作品がカン成する。　［　　］

② 弱者の側に立つ彼女の姿勢は、シュビ一貫している。〈愛知〉

ア シュセキで卒業する。
イ シュジクとして活躍する。
ウ 研究にチャクシュする。
エ 相手にセンシュ点を与える。

③ 待ち望んだ新型の国産旅客機がシュウコウする。〈愛知〉

ア 文化財をシュウフクする。
イ 会場をカンシュウが埋める。
ウ 事態のシュウソクを図る。
エ 大統領のキョシュウに注目する。

(3) ――線の片仮名を漢字に直したときに同じ漢字を使うものを、それぞれ後から一つずつ選び、記号で答えなさい。〈岡山〉

① この薬は風邪にキく。
ア 新ブンの記事を読む。
イ 裁判を傍チョウする。
ウ コウ率よく仕事をする。
エ 大きなリ益をあげる。

② 国に税金をオサめる。
ア けがのチ療が終わる。
イ 番組をシュウ録する。
ウ 冷蔵庫をシュウ理する。
エ 相手の話にナッ得する。

(4) 次の文から、誤って使われている漢字をそれぞれ一字ずつ抜き出し、同じ読みの正しい漢字を書きなさい。〈北海道〉

① 全国大会で、優秀な成績をあげた吹奏楽部に対して賞状が与えられた。

誤って使われている漢字 ［　　］ 正しい漢字 ［　　］

② 想定外のことが起こった場合は、慌てずに事態の収集を図ることが大切である。

誤って使われている漢字 ［　　］ 正しい漢字 ［　　］

(5) 次の――線の片仮名を漢字に直しなさい。〈愛知〉

彼は長年勤めた有名ホテルを辞めて、①シンキ一転、自分のレストランを②シンキに開業した。

① ［　　］
② ［　　］

アドバイス
同音異字・同訓異字・同音異義語は、このような形で出題されるだけでなく、単純な漢字の書きの設問で問われる場合も多い。使い分けを意識して、例文とともに覚えておこう。

5 **次の各問いに答えなさい。**

(1) 次の言葉の対義語を、漢字で書きなさい。

① 単純 〈石川〉 ［　　］
② 拡大 〈大阪〉 ［　　］
③ 否定 〈青森〉 ［　　］
④ 受動 〈山口〉 ［　　］

(2) 二つの語の組み合わせが類義語の関係になっているものを次から全て選び、記号で答えなさい。〈岡山〉

ア 納得 ― 了解　イ 消費 ― 生産　ウ 義務 ― 権利
エ 用心 ― 注意　オ 方法 ― 手段

［　　］

(3) 「抽象」と「具体」は対義語の関係であるが、二つの語の組み合わせがこの関係とは異なるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。〈和歌山〉

ア　必然 ― 偶然　　イ　希薄 ― 濃厚
ウ　危険 ― 安全　　エ　発想 ― 着想　　□

(4)　二つの語の組み合わせが「客観」の意味と「主観」の意味の関係と同じ関係になっているものを次から全て選び、記号で答えなさい。〈岡山改〉

ア　現実 ― 理想　　イ　容易 ― 簡単
ウ　案外 ― 意外　　エ　原因 ― 結果　　□

アドバイス　類義語の問題では、類義語の関係にあるものを選択肢から選ぶものが多い。対義語は、選ぶもの以外に直接漢字で書かせるものも多く出題される。対義語の関係にある熟語は必ずセットにして覚えよう。

6　**次の各問いに答えなさい。**

(1)　次の各文の――線の意味として適切なものをそれぞれ後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

①　思春期に差しかかっているからといって、腫(は)れ物に触るようにするのではなく、おおらかに接することに努めた。〈山形〉

ア　相手の気合いに負けないよう堂々と接する様子。
イ　相手に思いやりが伝わるよう丁寧に接する様子。
ウ　相手に弱みを悟られないよう冷たく接する様子。
エ　相手の機嫌を損(そこ)ねないよう恐る恐る接する様子。　□

②　もう二十年近く六郎のまかないをしてくれているトヨが丁寧に挨拶する少年を見て目を丸くした。〈兵庫〉

ア　意外なことに困惑した。　　イ　立派だと思い驚いた。
ウ　愛らしくてほほえんだ。　　エ　不自然に思い怪しんだ。　□

③　「……〝マン〟は男のことやけんそれを言うなら、やだやだウーマンよ」姉が指摘すると、「ウーマン」は大人の女の人たいね、と母が口をはさんできた。〈長崎〉

ア　話題を変えてきた。　　イ　間違いを正してきた。
ウ　文句を言ってきた。　　エ　話に割り込んできた。　□

④　日本語では、「Aは」と言うと、みんな固唾(かたず)を呑んで次の言葉を待つわけです。〈静岡〉

ア　あれこれ疑い迷って決断をためらう。
イ　目の前にあるものが欲しくてたまらない。
ウ　事の成り行きが気がかりで、緊張している。
エ　物事が思うように進まず、もどかしい。　□

(2)　次の――線の部分が慣用句となるように、□に体の一部を示す言葉を漢字一字で書きなさい。〈兵庫〉

①　彼女の華麗なピアノの演奏に、クラス全員が□を巻いた。

②　本校の卒業生からノーベル賞受賞者が出て、私は□が高い。

③　練習後も黙々と素振りを続ける彼の姿には□が下がる。

(3)　「話だけよりも、実際に見た方がよくわかる」の意味を表す故事成語になるように、□にそれぞれ適切な漢字二字を書きなさい。〈岡山〉

□□は□□に如(し)かず

アドバイス　慣用句・ことわざ・故事成語は、意味を問われる他にも、使い方が正しいかが問われることもある。意味がわからない場合は、文脈から推測してみよう。(2)のように体の一部を使った慣用句は、実際に漢字を当てはめて答えることも多い。